

「平成24年度 四国地方ダム等管理フォローアップ委員会」の開催について

四国地方整備局及び水資源機構吉野川局では、管理を行っている直轄及び水資源機構のダム・堰を対象とした「四国地方ダム等管理フォローアップ委員会」を下記の日時において開催しますのでお知らせします。

この委員会は、学識経験者により構成され、治水、利水及び環境に関する分析・評価を行い、当該ダム等の適切な管理に資することを目的としています。

記

- |        |   |
|--------|---|
| 1. 日時  | 平成25年3月15日（金）13：30～16：30（予定）                              |
| 2. 場所  | 高松センチュリーホテル 蘭の間<br>（香川県高松市錦町1-4-19）                       |
| 3. 議事  | 大渡ダムの定期報告書について<br>池田ダムの定期報告書について                          |
| 4. その他 | 委員会は、公開で行いますが、審議中は傍聴取材（着席）となります。内容等についての質問は委員会終了後にお願いします。 |

平成25年3月13日

国土交通省四国地方整備局  
独立行政法人水資源機構吉野川局

お問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 河川管理課  
TEL：087-811-8320（代）  
建設専門官：柳 忠和（内線 3753）  
独立行政法人水資源機構 吉野川局 施設管理課  
TEL：087-835-6600（代）  
施設管理課長：林 健二（内線 331）

1. 平成24年度 四国地方ダム等管理フォローアップ委員会の審議事項について  
 今回の委員会では、5年に1回作成する大渡ダム及び池田ダムの定期報告書について、審議して頂く予定です。

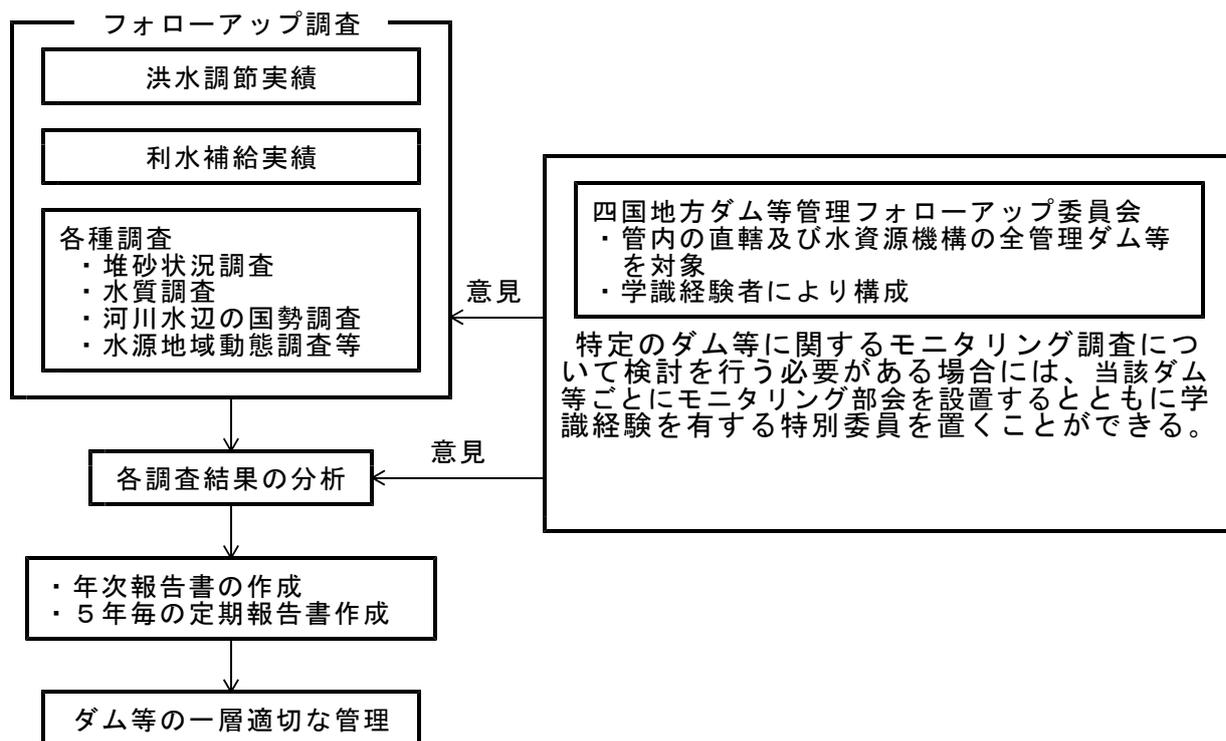
【定期報告書】

- 大渡ダム（仁淀川水系仁淀川）：昭和61年完成（2回目の定期報告）
- 池田ダム（吉野川水系吉野川）：昭和50年完成（2回目の定期報告）

2. 四国地方ダム等管理フォローアップ委員会の概要について（参考）

(1) 目的

四国地方ダム等管理フォローアップ委員会は、「ダム等の管理に係るフォローアップ制度の実施について」（平成14年7月24日国河環第32号国土交通省河川局長通達）に基づき、四国地方の国土交通省直轄及び水資源機構所管のダム、堰（以下「ダム等」という。）の管理及び試験湛水中のダムについて、管理状況のよりの確な把握ならびに環境への影響等の調査（以下「フォローアップ調査」という。）及び結果の分析と評価を、一層客観的、科学的に行い、当該ダム等の適切な管理に資するとともに、ダム等の管理の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図ることを目的に設置されています。



(2) 対象ダム等

対 象 ダ ム 等
直轄：柳瀬ダム、石手川ダム、野村ダム、鹿野川ダム、大渡ダム、中筋川ダム、 長安口ダム 機構：池田ダム、早明浦ダム、新宮ダム、富郷ダム 旧吉野川河口堰、今切川河口堰
計 11ダム、2堰

(3) 委員会の委員（平成25年3月現在）

職 名	氏 名	専 門
徳島大学名誉教授	三井 宏（委員長）	
愛媛大学大学院准教授	井上 幹生	魚類
香川大学名誉教授	井原 健雄	経済学
高知大学名誉教授	今井 嘉彦	水質
愛媛大学准教授	大森 浩二	底生動物
野生生物環境研究センター所長	澤田 佳長	鳥類・ほ乳類
高知昆虫研究会会長	中山 紘一	昆虫類
松山東雲短期大学教授	松井 宏光	植物
徳島大学名誉教授	村上 仁士	水質
愛媛大学大学院准教授	森脇 亮	水工学

※委員長を除く五十音順

(4) 委員会の役割

委員会は、フォローアップ調査の内容及びその調査結果について分析・評価を行い、委員の意見を取りまとめ、四国地方整備局長及び水資源機構吉野川局長に対して、委員会の意見として述べることになっています。四国地方整備局長及び水資源機構吉野川局長は、委員会の意見を尊重して、その後のフォローアップ調査の実施及び適宜必要な改善対策を行います。